

ヘルプマークについて

1 目的・効果

ヘルプマーク

援助や配慮を必要としている方が、
身に着けることで、周囲の方に
配慮を必要としていることを
知らせることができるマーク

(例)

義足や人工関節を使用している方、
内部障害や難病の方、妊娠初期の方などで、
援助や配慮が必要な方



ヘルプマーク



優先席に標示されているステッカー



外見からわからなくても、支援ニーズがある
ことを、周りに知らせることができる

2 取組経過

- 平成 24 年 10 月に「ヘルプマーク」を作成し、都営大江戸線で配布、開始
⇒ 全都営交通、多摩モノレール、ゆりかもめ、民間バス事業者等に順次拡大

3 普及への取組及び配布実績

- ヘルプマーク作成・活用ガイドラインや特設サイトを作成し、他の自治体や民間企業などの多様な主体による活用を促進
 - ・ デジタルサイネージ、映画館広告、特設サイトなど多様な広告媒体を活用
 - ・ 駅・公共施設・公立小中高等学校等に ポスター掲示
 - ・ 電車・バスの優先席やホームドアに ステッカー標示
- 平成 28 年 3 月末で 約 115,000 個のヘルプマークを配布

➡ { 使用者の声 } 外へ出る自信が出た
{ 支援者の声 } 困っている人に声をかけやすくなった

4 活用事例：ヘルプカード

緊急連絡先や必要な支援内容などを詳しく記載し、災害時や日常生活で、困ったときに見せることで、周囲に自己の障害への理解や支援を求めることができる。

⇒ 都内全区市町村において事業実施

今年度以降、福岡県、愛媛県、徳島市、宇都宮市など 35 区市町村で活用（予定含む）

(表面: 上部は都内統一デザイン)



(裏面: 参考様式)

下記に連絡してください。
私の名前
(ア) 連絡先の電話
連絡先名(会社・機関等の場合)
呼んでほしい人の名前
(イ) 連絡先の電話
連絡先名(会社・機関等の場合)
呼んでほしい人の名前

5 全国での活用

- 個人・障害者団体・議員等から、地元自治体への取組要望が増加
- 国・他自治体等からの問合せ多数、マスコミ取材が急増
➡ 今年度以降、京都府・青森県・徳島県・福岡県、札幌市などで活用（予定含む）